

東白川村 令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	事業費	充当額	担当課	評価
1	感染症対策事業	・消毒清掃に係る作業員の雇用。 ・公共施設へ感染症対策消耗品及び感染症対策備品を整備。	R3.4.21	R4.3.31	9,533,297	7,124,516	総務課	・教員や職員の消毒等の作業の負担軽減を図り、施設内での感染症拡大防止に寄与した。 ・各種消毒用品、抗原検査キット等を購入し、感染拡大の防止を図った。 ・公共施設に温度検知カメラを整備したことで、来館者等が体調の自己管理をできるようになり、施設内での感染拡大を防止することができた。
2	ふるさと便事業	・村人会（5,010円×170世帯）と学生（5,274円×70名）に対して、村の特産品「ふるさと便」を発送。	R3.6.8	R3.7.16	1,317,497	1,317,497	総務課	・コロナ禍により交流や帰省の自粛を余儀なくされた村出身者や本村に縁のある村外在住者へ、村の特産品を送ることにより、郷土愛へと結びつき、地方創生についても効果的であり、地域経済の活性化にも寄与した。
3	避難所等環境改善事業	・避難所など消防・防災拠点施設において、避難者、従事者の3密を避けるため、物品等の購入や衛生環境を守る対策工事を実施。	R3.5.24	R4.3.31	9,095,037	9,095,037	総務課	・各避難所に感染症対策物資を配備し、また、衛生環境を守るための改修を行ったことで、村民の安心安全に繋がった。
4	行政手続の対面見直し支援事業	・公文書等対面規制の見直しによる対面機会の削減と行政手続の見直しを図る。	R3.5.28	R4.3.31	2,640,000	2,640,000	総務課	・公文書への押印や公印省略のための手続きを見直したことで、住民等がメール等対面することなく行政手続を行えるようになり、対面による接触機会を減らし感染拡大の防止が図られた。
5	医療従事者応援事業	・医療現場で感染患者の治療等を行い、医療を維持している医療従事者に、その感謝と激励を込め、圏域で応援するため商品券を配布。	R3.9.6	R3.9.10	698,327	698,327	総務課	・感染症患者の治療等に最前線で従事する医療従事者に対し、圏域を挙げて感謝と激励の気持ちを届けることができた。
6	子育て世帯への給付金支給事業	・18歳までの児童・生徒等を養育する子育て世帯に給付金（児童・生徒等一人10,000円×240人）を支給。	R3.8.16	R3.10.29	2,380,356	2,380,356	村民課	・子育てを行う129世帯に給付し、コロナ禍により経済的支援が必要となった世帯の子どもたちの援助に寄与した。
7	白川茶新茶販売促進事業	・全世帯に対して1枚（1,080円の新茶を2個）の新茶引換券を発行。820世帯の全世帯に対して一世帯5枚（500円券×5枚）の新茶割引券及び村外への贈答として送付できる贈答券（1,080円×2枚＋送料）を発行。	R3.5.12	R3.10.22	3,895,461	3,895,461	産業振興課	・村内の新茶券取扱店で3,636千円分の新茶引換券及び贈答券が活用され、コロナ禍で低迷した基幹産業である茶業の活性化に寄与した。
8	事業所対策補助金交付事業	・コロナ禍で影響を受ける事業者に対し、感染防止対策を目的とする物品購入や対策工事等を行った場合の補助。（国や県が実施する補助金に該当しない経費に対し4分の3以内の額（上限10万円）の補助）	R3.12.3	R4.2.10	1,243,239	1,243,239	地域振興課	・村独自の追加支援を行ったことで、村内における感染拡大の防止がより図られた。

東白川村 令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	事業費	充当額	担当課	評価
9	村内消費拡大対策事業	・全村民に対し1人5,000円分の商品券を2回に分けて発行。各世帯への配布は自治会に配布を委託。	R3.6.22	R4.3.11	22,333,314	22,333,314	地域振興課	・コロナ禍により低迷した地域経済の活性化を図るため、東白川村つちのご商品券が全世帯に配布されたことで、住民の生活支援と村内の消費拡大に寄与した。
10	おべんとう券事業	・全村民に対して1人5枚（500円×5枚）のおべんとう券を発行。	R3.5.24	R3.11.26	5,073,540	5,073,540	地域振興課	・村内のおべんとう券取扱店において9,968枚のお弁当券が利用されたことで、コロナ禍における村民の生活支援と村内飲食業界の活性化に寄与した。
11	WEB会議室整備事業	・役場庁舎内の感染症対策、環境整備としてWEB会議室及びリモートに必要な資機材を整備。	R3.10.5	R4.1.28	3,384,524	3,384,524	地域振興課	・リモートワークの一環としてリモート会議室を整備したことで、コロナ禍での対面接触の機会が減少し、感染拡大の防止に寄与した。
12	学校保健会事業	・保育園、小中学校において、感染症対策として感染防止対策消耗品（使い捨てエプロン、手袋、ペーパータオル）を購入。	R3.6.4	R3.6.11	75,680	75,680	教育委員会	・発熱等体調不良の児童等に対し、教職員が迅速に対応できるようになり、教職員への2次感染の防止やその後の感染拡大の予防に寄与した。
13	保育環境改善等事業	・保育園における感染予防環境を整備するため、感染症対策消耗品、ブラインドカーテンの設置、空気清浄機を購入。	R3.5.25	R3.7.26	939,606	571,326	教育委員会	・感染拡大防止が難しい未満児や未就学児を預かる保育の現場に対し、感染予防環境を整備したことで、感染リスクが減少し、園児や保育士等の感染予防に寄与した。
15	日照木等除去事業	・自然景観と美しい村の保全及び創造を図るため、道路脇の木の伐採や草刈作業を委託して整備。	R3.6.8	R4.3.25	6,028,280	5,460,400	建設環境課	・地域住民が自主的に行う道路沿いの環境整備への支援として、地域住民では危険が伴う大きな木や、急勾配の斜面の木の伐採を行ったことで、地域の自然景観や道路環境の維持や改善が図られたとともに、道路沿いが明るくなったことで、コロナ禍により外出の機会が減少した住民が晴れやかな気持ちで散歩等を行えるようになり、自身の健康維持にも寄与した。
16	自主的な隔離措置応援事業	・濃厚接触者やコロナ患者と接触した可能性が高い住民が、感染拡大を防ぐために自主的に隔離を行う際に利用する宿泊施設の借上げ。	R3.8.19	R4.3.15	790,783	790,783	総務課	・施設を借り上げたことで、感染者や濃厚接触者が出た場合に自ら家族から隔離することにより、家庭内や村内での感染拡大の防止に効果があった。
17	フォレストスタイル契約成立キャンペーン事業	・コロナ対策「住宅契約成立キャンペーン」として契約額1,000万円以上の建築発注者に対し、使用木質構造材の70%（上限50万円×6棟）を補助。	R4.2.22	R4.3.11	3,000,000	3,000,000	地域振興課	・コロナ禍により住宅建築受注数が低迷した村の基幹産業の1つである木材・建築関連業に対し、村の「フォレストスタイル事業」によるキャンペーンを行うことで、住宅建築受注を促進し、地域経済の活性化に寄与した。
18	感染症拡大防止協力金事業	・県の要請や協力依頼に応じて、施設の使用停止や営業時間の短縮に全面的に協力する事業者に対して支給する「岐阜県感染症拡大防止協力金」の市町村負担金と、村の単独事業として感染症拡大防止協力に応じた事業者に対して協力金を交付。	R4.1.13	R4.3.14	995,268	462,000	地域振興課	・県や村からの休業要請等に対する協力を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、村内事業者の事業継続支援に寄与した。

※【No.14 小中学校教育振興費一般】については、交付金の充当を行いませんでした。